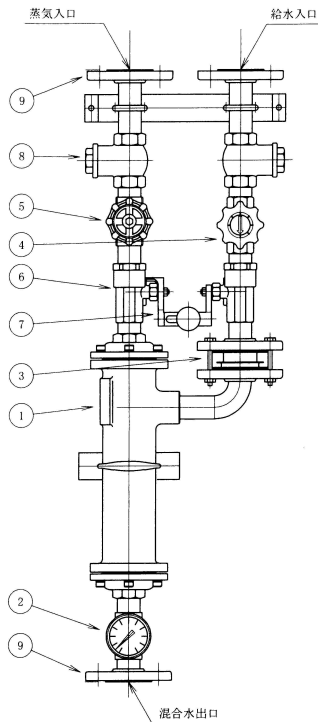

レオナード

プロセス用汽水混合給湯器 CTFX 型

取扱い説明書

1. 各部名称及び材質



番号	名称	主要材質
①	SW ヒーター	SUS
②	温度計	Bs
③	逆止弁	SUS
④	給水流量調整弁	Bs
⑤	蒸気流量調整弁	SUS
⑥	タンデムボール弁	BC/SUS
⑦	タンデム開閉レバー	BC/SUS
⑧	ストレーナー	BC
⑨	フランジ JIS10K	SUS

⑥、⑦の材質は CTFX-1,2 は BC, CTFX-3~5 は SUS です。

2. 仕様

- 最低給水・蒸気圧力 : 0.1MPa(作動時)
- 最高給水・蒸気圧力 : 0.5MPa(作動時)
- 最高温水製造温度 : 90℃
- 過熱蒸気には使用できません。
- 加熱能力は別紙 CTFX シリーズ蒸気流量表を参照下さい。
- **温水出口側で開閉する使い方はできません。温水出口は絶えず開放状態でご使用下さい。**
- CTFX 給湯器は温水を循環しながら加熱する循環加熱には使用できません。
- 90℃以上の高温水を製造する場合は、CTXF の混合水出口ですぐに開放するのではなく、出口に配管を 1m 程度設置して下さい。

- ・ 蒸気/給水圧力は絶えず一定にコントロールして下さい。サーモスタット構造ではありませんので供給圧力が変動すると温水温度や流量は変動します。
- ・ 各給湯器の蒸気使用量が下記の値以下になるような条件では使用できません。
CTXF-1：80kg/h CTXF-2：135kg/h CTXF-3：170kg/h
CTXF-4：230kg/h CTXF-5：400kg/h

3.設置

- 1.SWヒーターを付属の取付け用ブラケットで架台や壁面にしっかりと取りつけて固定して下さい。
- 2.蒸気配管は熱による伸縮がありますので、伸縮ストレスがユニットにかからないようフレキ等を使用する等の対策をお願いします。
- 3.蒸気・給水圧力が変動するところでは減圧弁を設置し、圧力を一定にして下さい。
- 4.ドレンはヒーターに入る手前で抜いて下さい。
- 5.ヒーターの温水出口側にはバルブを取りつけないようにして下さい。
- 6.蒸気並びに給水入口フランジの一次側に、仕切弁を設置して下さい。
- 7.蒸気並びに給水管には圧力計を取付けて下さい。

4.使用方法

A 温度調整

1. タンデムボール弁を開き、必要な水量が得られるよう流量調整弁④を調整して下さい。
2. 蒸気の流量調整弁⑤を必要な温度が得られるまで徐々に開いて下さい。
3. もし蒸気流量調整弁を全開にしても必要な温水温度が得られない場合は給水流量調整弁④を必要温度が得られるまで閉じていって下さい。

B 通常使用

1. タンデムボール弁を引き上げて開いて下さい。
給水、蒸気の流量調整弁④、⑤は一度開度を決めると、タンデムボール弁の開閉で、前回使用時と同じ温水温度を得ることが出来ます。（但し、各供給圧力が一定の場合）
2. 温水を止めるにはタンデムボール弁を引き下げて下さい。
永く使用しない場合は、蒸気、水各々の仕切弁を閉じて下さい。

本装置の取り扱いに関して不審点、不明点がありましたら、どうぞ遠慮なく御連絡下さい。

サービスコール ☎0120-71-0321

